

占領期の大分に女性文化新聞があった 「ウーマンガゼット」

終戦直後、占領期の日本。一九四五年から一九四九年にかけてGHQが検閲した多岐に渡る日本の出版物が、アメリカのメリーランド大学に「フラング文庫」として収蔵されています。いずれも占領期の様子を知る貴重な資料です。

大分県関係の出版物は新聞が二六六種類、雑誌が一〇種類（内、大分県関係は三六種類）。その中の一つに「女性文化新聞ウーマンガゼット」（発行所／大分市唐人町 女性文化新聞ウーマンガゼット社・定価／一部十円）がありました。これはフラング文庫を研究する日本文理大学の白土先生が偶然発見されたものです。この新聞が何号まで発行されたのか、どういう経緯でこの世に出たのかは、今のところ不明とのこと。創刊号には当時の大分市長上田保氏の「タイアップしよう」という寄稿もあり、産声をあげたばかりの女性文化新聞と女性の身の上相談所の発展に期待を寄せ「市も大いにタイアップして県下の女性の自覚と向上を促したい」と結ばれています。他に、ガールスカウト設立のために日本に来



ていたデニス女史の記事や、女性警察官の新しい時代に向かう熱い思いなども掲載されています。

これまで表に出ていなかった当時の出版物を読み解くことで、次世代に繋がる新たな発見が出来るのではないのでしょうか。

白土先生はまたフラング文庫収蔵の大分県関係の雑誌を対象とした「大分フラング文庫の会」を主宰し、学習会を行っています。興味を持たれた方はメールにてご連絡して下さい。



DATA

大分フラング文庫の会 代表 白土 康代
(日本文理大学経営経済学科)
siratuti@nbu.ac.jp

“女性に対する暴力をなくす運動” 啓発キャンペーン

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせて大分駅前で団体活動者らによるキャンペーンを行いました。



貸出し本・DVD紹介

～男女共同参画推進室では、書籍やDVDの貸出しをしています～

書籍

男おひとりさま道



男おひとりさま道

上野 千鶴子 著 法研

今日の超高齢化社会で、男おひとりさまも増えている。男社会をクールに観察し、さまざまな現場や男性取材した結果をまとめた実践のマニュアルの本書には、老いた弱者には男も女もない、助け合いで世の中のしくみをよりよく変えていきたいという著者の願いが込められている。

DVD



ワークライフバランス

働き方や価値観の多様化が進むなか、注目を集めるワークライフバランス。その実現には当事者(管理者・社員)の意識改革が欠かせない。長時間残業、子育てや介護と仕事の両立など仕事にまつわる問題と、ワークライフバランスを実現するための取り組みや心構えを説く。

職場研修などにもご活用ください。

編集後記

終戦直後の占領期の大分に、思いの外元気で前向きな空気があったことを知りました。

温故知新。明るい未来をイメージして日々を送りたいと思います。

【編集】

田辺 薫 男女共同参画推進室
井上 順子 TEL 537-5724 FAX 536-4044
湊 初代 メールアドレス danjokyodo@city.oita.oita.jp